

こども計画策定のための意見聴取について

こども基本法により義務づけられている、こども施策に関する子ども等への意見聴取について、来年度のこども計画策定を見据えて、令和5年度中に以下のとおり実施した。

1 概要

聴取方法	施設名	対象者	テーマ
意見交換会	聖心保育園	保育士 保護者・園児	ふじさんっこ応援プラン 基本目標について
	白道こども園		
	子育て支援総合センターのびのび	利用者親子	わたし(こども)の居場所 について
	吉田町中央児童館		
	三島市放課後児童クラブ		
	静岡農業高校	高校生	こどもや若者が自分たちの夢や希望をかなえたり、力を発揮するために、必要なことについて
	静岡北特別支援学校南の丘分校		
	三島北中学校	中学生	
	掛川市立中小学校	小学生	
	常葉大学	大学生	
	静岡大学ほか(若者カフェ参加者)		
	ひまわり園(児童養護施設)	小～高校生	相談しやすい意見表明支援員のイメージについて
	はとりきっずぴあ(こども食堂)	利用児童 スタッフ	わたし(こども)の居場所 について
既定事業	ライフデザイン応援事業実施校 ・中学4校、高校7校、大学2校	中学生、高校生 大学生	ふじさんっこ応援プラン について
アンケート	ふじのくに出会いサポートセンター	会員	アンケート(必要な婚活支援について)

2 聴取した主な意見

ライフステージを通じた重要事項
<ul style="list-style-type: none">・初めて会う大人に色々聞かれると、普段は意見が言える子でも、緊張して答えられなくなる。信頼関係ができて大人であれば、こどもも安心して意見を言える。・内情を知らない人には話したくない。・大人との関わりは、親や学校が中心で、地域の人とは挨拶程度の交流しかない。・生みの親だけではなく、地域社会で子育てをする意識や仕組みが必要。そのための地域の予算（補助金等）を増やして欲しい。
ライフステージ別の重要事項
こどもの誕生前から幼児期まで
<ul style="list-style-type: none">・無痛分娩を近くの病院では行っていなかったり、通常の出産よりお金がかかったりする。無痛分娩が当たり前になれば、出産の精神的負担が減る場合がある。・保育士の待遇や、労働環境が仕事の大変さに見合っていないと考える人が多いため、保育士のなり手が少ない。・保育士による幼児の虐待や、バスへの置き去りによる死亡事故など、安心して子どもを預けられる環境整備が課題である。
学童期・思春期
<ul style="list-style-type: none">・子育て支援センターは、家族以外の人と関わり、刺激を受けられる機会を提供してくれるため、こどもにとって良い場所だと思う。・こども会等の行事を積極的に行う地域とそうでない地域がある。地域間で差がないようにして欲しい。・他校の小学校との交流行事を増やし、親しくなる場が欲しい。・校則改正などについて、生徒と教師が対等に話せる場が欲しい。
青年期
<ul style="list-style-type: none">・遠距離通学や授業料等の補助が充実していれば、進学先の選択肢が広がる。・学校の職業体験では限られてる。高校生向けの職業体験施設（高校生版キッザニア）があれば、多様な職業を知り、やりたいことを見つけるきっかけとなる。・結婚して家族を養うには多額の費用がかかるため、収入が少ない、借金（奨学金）を抱えていると結婚をしたくても諦めてしまう。
子育て当事者への支援
<ul style="list-style-type: none">・女性が出産時に仕事を休むことに対する理解が足りない。また、男性は育休をとりにくい雰囲気がある。そのため、育児が女性中心になり、女性に精神的負担がかかる。・こどもが体調不良の際は、「お休みを取ります」と胸を張って堂々と言えるような社会になって欲しい。・予防接種など各家庭の子育て費用は、まちまちなので、利用幅のあるサービスチケットのようなモノがあると良い。